

はじめに

「バイシクルフレンドリータウン宣言」



みんなが自転車の便利さ、良さ、乗り方を理解している。
自転車、歩行者、自動車が互いに思いやりをもって共存している。
自転車が走りやすい空間、乗りたいときに乗れる環境が整っている。
自転車が日常生活で快適に利用され、まちづくりに活用されている。

～自転車が似合うまち おおいた～

自転車がまちの中でさりげなく、快適に利用され、また、それがまちの風景になって、おおいたらしさを演出している。

大分市ではこんな自転車文化が薫るまち「バイシクルフレンドリータウン」を創造します。

この宣言は、平成17年10月16日の「VIVA!スポーツおおいたinビッグアイ」において発表しました。

大分市長 釘 宮 磐

第1章	バイシクルフレンドリータウンの創造 ～なぜ、今、自転車なのか～	1
第2章	大分の自転車利用の現況を知ろう	2
	自転車利用の現況特性と問題	2
	自転車利用の課題	4
第3章	自転車利用の位置づけと基本方針	6
第4章	バイシクルフレンドリータウン創造の体系	7
第5章	バイシクルフレンドリータウン創造の取り組み	8
	Ⅰ.自転車で元気・きれいなまちおおいた	8
	Ⅱ.自転車に乗りたくなるまちおおいた	10
	Ⅲ.自転車に快適に乗れるまちおおいた	14
	Ⅳ.自転車に乗る人が楽しく、やさしいまちおおいた	20
第6章	バイシクルフレンドリータウン実現に向けた推進と体制づくり	22

